

◆ 墨田都税事務所長賞 ◆

「税と公共サービス」

墨田区立本所中学校 第三学年 安藤 友紀奈

最近、私のまわりでも税金と公共サービスについて考える機会が増えました。

友達や家族との会話やニュースでの話題から、税金がどのように使われているのか、そしてそれが私たちの生活にどのような影響を与えているのか、について興味深いことを学びました。

最初に、私の家の近くにある公園が改装されたことがあります。新しい遊具やベンチ、きれいな花壇が整備されて、公園がとても魅力的に生まれ変わりました。

この公園を訪れるたびに、税金がこうした場所の美化や整備に使われていることを感じます。税金を支払うことが、地域全体の良さを創り出す一助になっていることを実感しました。

また、ニュースで税金が様々な公共サービスに使われていることを知りました。

教育や医療、交通インフラなど、私たちの生活を支える重要な分野で税金が活用されています。これによって、私たちは安心して生活できる環境が整備されているのだと感じました。

しかし、同時に税金が適切に使われているかどうか重要であり、政府や自治体の責任も大きいと思いました。

私の学校で租税教室が行われました。

その中で、税金が約50種類に分かれていることを知りました。所得税や消費税、固定資産税など、様々な名前の税金があることに驚きました。それぞれの税金が、どのような目的で使われているのか、そして私たちの生活にどのような影響を与えているのかを学ぶ機会になりました。

税金の使途について考える中で、私の考えが変わった瞬間がありました。

以前は税金を支払うことが面倒なこと、と感じることもありましたが、今は税金が公共サービスの向上に繋がっていることを理解しています。

特に教育における税金の重要性に気づきました。

適切な予算が割り当てられること、子供たちがより良い教育を受けられることを知り、教育への投資が、将来の社会に大きな影響を与えることを感じました。

一方で、税金に対する疑問点もあります。

税金を払うことは義務ですが、その使途に対して、市民がどれだけの影響力を持っているのか疑問です。政府がどのような基準で税金を分配しているのかについて、もっと理解したいと思います。

税金と公共サービスは、社会全体のバランスを保つために欠かせないものです。

税金の使途について考えることで、私たちの生活がどのように支えられているのかを知り、国民としての責任を感じることができます。将来は、税金と公共サービスの関係をより深く理解し、社会への貢献を考えていきたいと思っています。